



シリーズ・2019夏季手当のたたかい②

前年度を上回る業績を社員への還元にし

～昨年の決算と夏季手当を振り返る～



JR東日本は、4月25日に「2018年度 期末決算」を発表しました。単体決算は、増収増益。営業収益・運輸収入が7期連続の増収かつ、過去最高となり、また、当期純利益が過去最高となっています。

そして、連結決算においても増収増益。営業収益は7期連続の増収かつ、過去最高でした。また、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が過去最高となりました。

上記の赤字・下線を引いた箇所は、2017年度の決算と同様の業績内容です。2018年度も「増収増益」「純利益が過去最高」の文字が躍っています。

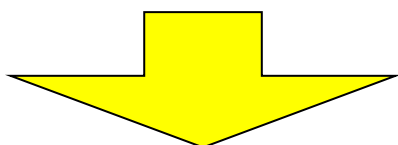
前年度を上回る収益・利益を生み出している会社に対して、社員への前年度を上回る還元を私たちが求めることは当然のことではないでしょうか？

2018年度 単体期末決算 (単位: 億円)

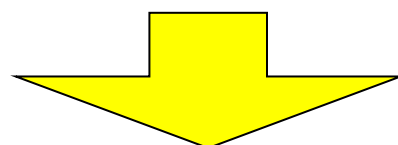
科目	期末決算	対前年
営業収益	21,133	+200
うち運輸収入	18,567	+200
当期純利益	2,511	+40
人件費	4,499	-62

2017年度 単体期末決算 (単位: 億円)

科目	期末決算	対前年
営業収益	20,932	+244
うち運輸収入	18,367	+204
当期純利益	2,470	+37
人件費	4,562	-59



今年の夏季手当
?ヶ月分



昨年の夏季手当
2.91ヶ月分

株主への配当アップだけでなく、社員にもさらなる還元をみんなで求めよう!